

この世は舞台、すべての男女
は役者である、とは劇作家
ウィリアム・シェイクスピアのこ
とばだが、現実の自分をふりかえ
つてみれば、せめてリハーサルさ
せてくださいませ、と天に向かっ
て懇願せずにいられないような才
口オロした大根役者ぶり。
だからいっそう、この人との出
会いは、新鮮であった。

小野剛さん。靴の修理職人であ

卷之三

東京・恵比寿の住宅街の一角に
ほわっと現れる、隠家のような
靴屋。ガラス越しに見えるのは、
靴を修理する小野さんである。工
具をあつかう器用な手元、精悍な
横顔、鍛えられた筋肉をうかがわ
せる立ち姿には、つい足を止めて
見入りたくなる味わいがある。
「舞台裏」で仕事をすることがあ
たりまたたた靴修理職人を、こ
うして「表舞台」でパフォーマン
スさせているプロデューサーは、
「リファーレ」の社長、金本「志さ
ん。靴の海外品買い付けをしてい
た時代に、取引先の百貨店で、靴
の修理の仕事をしていた小野さん
と出会った。

技術の高さはもとより、修理の方法が独創的だったこと、そして何より修理の内容をことばで表現する技術がすばらしかったことで、小野さんはれこみ「こんな職人

技術の向上をめざして東京に。「新幹線のなかで、靴を二足、ぜんぶバラしてみたりした」という熱心な研究ぶりで、たちまち東京でも注目の技術者になる。

「靴の修理も芝居と同じ。一見、わからぬといふ間に隠し味を込めます。はじめてみて〈あつ、ちがう!〉とお客様に感じてもらうと、〈勝った!〉と嬉くなります」

「たとえば、この中敷きです。表面はふつうの中敷きに見えますが裏側は持ち主の足の形に合わせて立体的に作ってあります。だから土踏ますの部分などが、ぴたっこどくるんですね」

「そう語らしげに語る小野さんの足元は、なんとビーチサンダルでこれが足の凸凹にぴたつと合うよう、立体的に成形しなおしてあるのだ！」

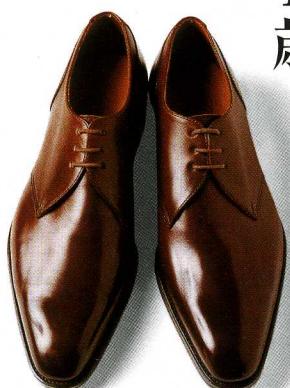
お客様との最初の会話から、お会計が終わるまで、修理職人としてのパフォーマンスを心がけていた。小野さんに心底感心して、「このお仕事は天職ですねえ」とつぶやくと、小野さんは、うくんと首をかしげた。

たいへんしゃいます」

そんなズゴ腕の職人も、かつては仙台で演劇俳優を目指していた。副業だった修理の奥深さに目覚め、

Who's who 5

シユーブリペア



リファーレ
〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南2-7-1 1F
Tel:03-5768-1373
www.rifare.jp

リファーレ
〒150-0022

1150-0022
東京都渋谷

Tel:03-5768-1373

www.rifare.jp

「今は」これが私の舞台です。でもどんな仕事にだって、戦場と舞台は、必ずあります。そのとき、そのときに、舞台をめいっぱい楽しめるかどうか。それがだいじなんじゃないでしょうか？」

舞台を、楽しめ。靴を修理してもらおうより先に、大根役者根性を修理してもらつたような気がしています。■

も、天職と満足して可能性をわざわざ小さくする必要はないと思つて います。別の未来がここから開けてくるかもしれないですし」
ああっ、失礼しました！ 恥じ入る中野に、小野さん、ことばをつづける。

A pair of brown leather dress shoes with laces, shown from a top-down perspective.

「今は」これが私の舞台です。でもどんな仕事にだって、戦場と舞台は、必ずあります。そのとき、そのときで、舞台をめいっぱい楽しめるかどうか。それがだいじなんじゃないでしょうか」

舞台を、楽しめ。靴を修理してからより先に、大根役者根性を修理してもらつたような気がしています。■

中野和織 = 文
text:Kaori Nakano
福知彰子 = 写真
photographer:Akiko Fukuda